

## 北海道内各医療施設における妊婦ATLA抗体保有状況

千葉峻三\*, 山中 樹\*  
大里外誉郎\*\*, 岩永未知代\*\*, 今井章介\*\*

要約：昭和63年6月から12月までの6ヶ月間に北海道内各地域の10の医療施設を受診した1704名の妊婦に対しATLA抗体をスクリーニングし9例のキャリアー妊婦を同定した。ATLA抗体陽性頻度は0.52%であり、九州地域の約十分の一程度であった。キャリア妊婦の地域分布は、旭川3例、札幌2例、釧路2例、日高、胆振地区2例であった。

見出し語：北海道、妊婦ATLA抗体陽性率

研究方法：道内各地域の医療施設から採取された1704例の妊婦のATLA抗体を、ゼラチン凝集反応(PA)法でスクリーニングし陽性例を間接蛍光抗体(IFA)法とウエスタンブロット(WB)法で確認した。

結果：

1. ATLA抗体陽性妊婦は9例で全体の抗体陽性率は0.52%であった。
2. 陽性妊婦の地域分布は、旭川地区3例、札幌地区2例、釧路地区2例、日高胆振地区2例であった。
3. 8例の妊婦は北海道内で出生し、1例は宮崎県で出生した。1例の妊婦の両親は熊本出身であった。
4. 3例の配偶者はATLA抗体陽性であった。

考察：北海道は、HTLV-Iウイルスの非浸潤地帯とされてきた。

これまで、道内における妊婦のATLA抗体保有

状況については、明確なデータが皆無であったが、今回の調査によりその保有率が約0.5%であり、旭川、札幌、釧路、日高、胆振地域にキャリア妊婦が集積していることが明らかにされた。今後さらに検査対象を拡大し、道内各地域の抗体陽性頻度を明らかにするとともに家族調査を推進し、その感染様式を解明していくことが必要と考えられる。

文献：

- 1) 権 吉源他：非多発地北海道における成人T細胞白血病ウイルス抗体の検索。北海道医学雑誌 60：871-875, 1985
- 2) 岩永未知代他：北海道の成人T細胞白血病患者家族における成人T細胞白血病ウイルス浸透度。北海道医学雑誌 60：876-884, 1985

### Abstract

Prevalence of human T lymphotropic virus type I (HTLV-I) in pregnant women of Hokkaido District in Japan.

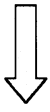
Chiba S. et al

Screening study of anti-HTLV-I antibody has been done against 1704 serum specimens of pregnant women from different parts of Hokkaido District in order to evaluate the prevalence of this virus.

Preliminary result shows that nine women were found to be positive carriers of the virus (carrier rate 0.52%). Sero-epidemiological study will be done against their families in order to study transmission mode of the virus.

\*札幌医科大学小児科 (Dep. Pediatrics, Sapporo Medical College)

\*\*北海道大学医学部癌研ウイルス



## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:昭和 63 年 6 月から 12 月までの 6 ヶ月間に北海道内各地域の 10 の医療施設を受診した 1704 名の妊婦に対し ATLA 抗体をスクリーニングし 9 例のキャリアー妊婦を同定した。ATLA 抗体陽性頻度は 0.52%であり、九州地域の約十分の一程度であった。キャリア妊婦の地域分布は、旭川 3 例、札幌 2 例、釧路 2 例、日高、胆振地区 2 例であった。